

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立南六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・繰り返す、環境整備、ほめて価値づけることを前年度から続けることで、表現を楽しみながら取り組む児童が増えた。
- ・つくりたいイメージに合わせて色や形を選ぶなど、造形的な視点をもって材料を扱う姿が見られるようになった。

(2) 課題

- ・造形遊びの経験が乏しく、自分の触覚や視覚、気持ちなどを活かしてどう活動をするか考えることや、身近な素材や用具から活動を思いついたりすることに慣れていない児童が半数近くいる。

2 分析（観点別）

① 低学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・手で触れたことや目で見たことなどから思い付き、感覚的につくることのできる児童が多い。 ・えがく、つくるなど基本的な作業は概ね行えるが、材料や用具の使用経験が未だ不足している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・表したいことを思い付き、表現を楽しむことのできる児童が多い。 ・まだ生活経験が少なく、同じような発想やイメージになり表現が拡がりにくい傾向にある。 ・友達と作品を見せ合うことで自分の表現を見直し、工夫を足そうとする児童が目立つ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら活動できる児童が多い。 ・造形遊びや鑑賞の活動を通して、友達と楽しく関わろうとする児童が多い。 ・まわりへの意識が希薄である子や、コミュニケーションがまだ苦手である児童もいる。 |

② 中学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・表現の工夫を考えながら表そうとする児童が多い。 ・造形遊びの経験が乏しく、活動に慣れていない児童が半数近くいる。 ・技能を確実に身に付けるための練習時間が未だ足りない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が楽しいと感じたことや面白いと感じたことをイメージし、自由に発想している。 ・思い付きだけで満足してしまい、自分の考えや思いを深めたり広げたりすることが難しい傾向にある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・つくることへの意欲をもって取り組める児童が多い。 ・忘れ物が多く、活動時間への意識が乏しいなど、授業規律の定着が未だ難しい児童が目立つ。 ・学習課題に集中するのが難しい児童もいる。 |

③ 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・空間や奥行きを意識することや、自分のイメージを表すための工夫を試みることができるが、なかなか完成度が上がらない傾向がある。 ・基本的な道具の使用経験はあるものの、応用活用には至らない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験を活かして道具や材料を使い分け、自分に合った表現方法を選んで表わそうとするが、表現を深めていくことが難しい児童が多い。 ・つくる行為そのものに熱中してしまい、造形的な視点や感じ方を意識することが難しい児童もいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組み、制作活動に興味や関心をもつことのできる児童が多い ・未提出物や忘れ物が目立つ。 ・人と比較しすぎて自分の表現に自信がもてなくなり、意欲を高めにくい児童もいる。 |

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 練習と声掛けを繰り返しながら、細やかに個別指導を入れていくことで、用具や用法等、基礎基本の確実な習得を図る。 活動が円滑に進むよう、児童の動線や扱いやすさを意識した学習環境を整備する。 造形遊びの機会を意識して設け、活動を通して素材体験と造形感覚を培う。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージを具体化するため、ワークシートやタブレットを用いて、記録をとらせ、ふりかえりが容易にできるようにする。 自分や友達の作品を見合うことで見方や感じ方を広げていけるよう、鑑賞や発表場面を多く取り入れていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な学習規律を確立させていくため、担任・支援員との連携を図る。 手と体を使った活動と素材体験を意識し、造形遊びの時間を多く設ける。 つまづき経験の減少をねらい、スモールステップ学習を頻繁に取り入れていく。 |

(2) 中学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 練習時間の増加及び個別指導を入れることで安全かつ正しい道具の扱い方を習得させていく。 日常的に絵や立体などの造形に触れる場面を設け、様々な造形的表現を知る機会を増やす。 造形遊びの機会を意識して設け、活動を通して素材体験と造形感覚を培う。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージを具体化するため、ワークシートやタブレットを用いて、記録をとらせていく。 思考を試し、つくり変えていく活動を児童に強く意識させ、思い付きに留まらず表現を追求していけるような流れの定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 意欲を認め、自ら進んでつくることに取り組んでいけるよう、根気良く見守る態勢を心掛ける。 活動に集中できる環境づくりのため、個々の作業スペースを確保する。 基本的な学習規律を確立させていくため、担任・支援員との連携を図る。 |

(3) 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> これまで身に付けた知識や技能を制作に取り入れることや、自ら情報収集するように、タブレットや本、図版や掲示などの活用について示していく。 これまで身に付けた技能や知識及び自分のアイデアを生かせるよう、既習事項の活用資料等、常に確認しやすく示していく。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージを具体化するため、ワークシートやタブレットを用いて、記録をとらせていく。 作品をつくる動機やねらいを明確にさせ、自己の思考や判断が必然的に行われるような題材を設定する。 思考を試し、つくり変えていく活動を児童に強く意識させ、振り返りながら表現を追求していけるような制作の流れの定着を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 自らの表現を選択決定できるような題材設定を行う。 自分の表現に集中させ、極力活動の流れを止めないよう、声掛けの頻度削減等、根気良い見守りと必要最低限な支援を行う。 活動に集中できる環境づくりのため、個々の作業スペースを確保する。 |